

第 1 2 章 食品衛生・狂犬病予防

1 食品衛生関係

平成30年6月に約15年ぶりに食品衛生法が改正され、許可業種が再編されるとともにHACCPに沿った衛生管理制度が導入され、原則としてすべての食品事業者自らが衛生管理計画を作成し、計画に基づき管理を行うことになった。

各食品衛生責任者、集団給食施設従事者などを対象に法の周知と衛生管理の徹底について指導した。

2 狂犬病予防関係

近年、海外で動物に咬まれて帰国後発症した事例以外には、国内における狂犬病の発生は報告されていない。しかし、海外においては依然として狂犬病の発生が見られ、今もなお狂犬病予防対策は重要なものとなっている。

咬傷事故や逸走による犬の捕獲に対応するとともに、多頭飼育崩壊や虐待等について適正飼養を指導した。

